

PT OT ST

RECRUIT

『専門性』と『チーム力』で支える
桜十字白金リハビリテーション病院の
リハビリテーション部を紹介します。



桜十字白金リハビリテーション病院



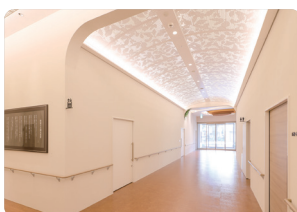
ぎゅーっと詰まった
リハビリ病院!!



+α



+α の価値を生むリハビリで
患者さまの新たな『生きる』を
共に満たす。





VISION

リハビリテーション部のビジョン

患者さまの生きるを満ちし、関わる全ての人が幸せになる、
そんな今日を私たちは創る!

ABOUT

病院情報

① STAFF

PT: 19名
OT: 12名
ST: 2名

② 病床数

68床

③ FLOOR

地下1階・
地上4階建て
2階リハビリ室

④ 実績

・在宅復帰率
91.7% (78.4%)
・重傷者改善率
65.9% (42%)

※ 2025年8月末時点

※ () は全国平均

「患者さまとじっくり向きあう」回復期リハの特徴

回復期リハビリテーション病院は、病気を発症し急性期治療を終えた患者さまが
身体機能の回復や社会生活の復帰を目指して入院される場所です。

セラピストは患者さまのお身体の回復と生活に丁寧に向き合い、リハビリを行います。

- 身体の機能回復を一番近くで実感できる
- 患者さまにじっくりと関わることができる
- 医療から介護まで幅広い経験ができる

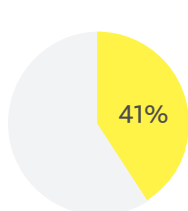


密接に経験できる領域 (病気の発症から4つの回復過程)

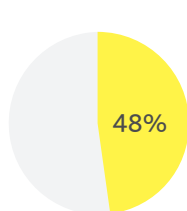
ステージ毎の 経験領域	1. 発症・入院 生命医療	2. 機能回復	3. 生活学習	4. 社会復帰・地域 介護・予防
急性期	◎	◎	▲	▲
回復期	○	◎	◎	○
生活期	▲	▲	◎	◎

※一般的な目安

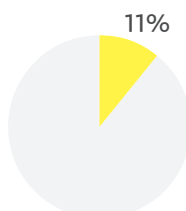
入院患者さまの疾患の内訳 (2024年度実績)



脳血管疾患



運動器疾患



廃用症候群



代表的な疾患

- ・脳梗塞・脳出血
- ・大腿骨頸部・転子部骨折

- ・経験できる症例：難病、脊髄損傷、多発骨折、切断・離断 等
- ・20代～50代の社会復帰・復職支援も数多く経験

2. CAREER DEVELOPMENT SYSTEM OF THE REHABILITATION DEPARTMENT リハビリテーション部のキャリア育成システム



自分の強みや関心・目標を見つけて、セラピストとしてのキャリアを自ら選択し、実現することを目指します！
私たちはそのサポートができる育成システムを整えています！

③ エキスパートキャリア	それぞれ興味のある分野を選択し専門性を高めるクラス
② ゼネラリストキャリア	自立セラピストからエースセラピスト、リーダーへ至る共通クラス
① ベーシックキャリア	新卒～若手セラピストの共通クラス

① ベーシックキャリア

BASIC CAREER CLASS

「新人セラピスト」から「自立セラピスト」を目指す4つの成長STEP!

新卒で入ったけど、いきなり臨床でのリハビリは色々と不安、、、

「若手セラピスト」が「自立セラピスト」へ成長できるように無理のないステップアップ式の育成システムでサポート!



③ エキスパートキャリア

EXPERT CAREER CLASS

可能性を広げる3つのエキスパートキャリアクラス



M マネジメント（管理職向けキャリア）	リーダーシップやマネジメントの専門性を高め、チームやリハビリテーション部全体に対して自身のスキルを発揮するクラス
S スペシャリスト（専門臨床家向けキャリア）	リハビリの実践的な知識、技術の専門性を追求し、患者さまに対して質の高いリハビリを提供していくクラス
R リサーチャー（研究者向けキャリア）	臨床における疑問やエビデンス、または未開拓の領域をアカデミックに追求し、多くのセラピストにとって有意義な情報を発信していくクラス

3. REHABILITATION DEPARTMENT INITIATIVES リハビリテーション部の取組み



当院の働き方

- ・早出遅出の制度あり（患者さまの日常生活場面に実際に参加）
- ・1日のリハビリ時間：18単位取得を基準に患者数によって変動



ある1日の業務スケジュール（例）



おはようございます。
今日の予定は・・・



- 8:30 ● 出勤、着替えて2階リハビリ室へ
- 8:35 ● チームミーティングと全体の朝礼でメンバーと情報共有
- 9:00 ● 午前のリハビリスタート！患者さまとリハビリ室で通常リハ！
- 10:00 ● 患者さまと公共交通機関の利用訓練で白金高輪駅へ！
- 11:00 ● 患者さま、ご家族と定期面談、リハビリの経過を報告
- 12:00 ● 休憩、1階カフェエリアで昼食
- 13:00 ● 午後のリハビリスタート！患者さまとリハビリ室で通常リハ！
- 14:00 ● 患者さまのご自宅へ家屋調査
- 16:00 ● 医療カンファレンスに参加（Dr・リハ・Ns・MSW 等で月に1回開催）
- 17:00 ● カルテ記録、メンバーと情報共有
- 17:20 ● 全体終礼
- 17:30 ● 退勤



カルテを記録して終了！
おつかれさまでした！

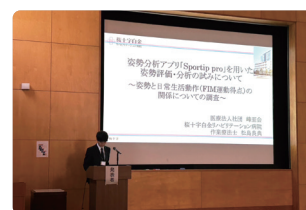
- ※ 9:00～12:00と13:00～17:00の間はリハビリを主とした業務時間です。
1日17単位～20単位を目安に取得しています。
- ※ 勤務には早出と遅出シフトがあり、病棟の生活動作にリハビリ介入する時間が設けられています。
早出は7:00～16:00、遅出は10:00～19:00の勤務時間となっています。
- ※ 早出・遅出は合わせて月に2～3回程度



勉強会



レクリエーション



学会発表

教えて！白金リハのこと！

リハビリテーション部 PT・OT・ST 座談会

齋藤リハ部長も
登場！

お聞きしたこと

1. 白金リハを選んだ理由を教えてください！
2. 病院の雰囲気や環境について
3. やりがい、成長を感じる??
4. 相談できる上司や先輩はいますか
5. 働き方、ワークライフバランス
6. 患者さまとの関わりや工夫
7. リハビリ部としての取組み
8. 応募検討の方へ！

飯村主任
(PT/14年)篠田さん
(PT/6年)武田さん
(OT/6年)いおがわ
五百川さん
(PT/9年)松島主任
(OT/19年)永野さん
(ST/7年)

※熊本から異動含む

「対話」を大切にしている皆さんに聞く、白金リハでのワークライフ・成長とは。

1. 白金リハを選んだ理由を教えてください！

松島主任：以前は埼玉の急性期病院で一般病棟のリハビリを担当していました。転職を考える中で「次は回復期に行きたい」と思うようになって。あと、港区がもともと好きな街だったので自然と白金に目が向いた感じです。

五百川：やっぱり環境も大事ですね。

松島主任：そうそう(笑)。それに「求められる基準が高い」と聞いていたので、逆にそこが自分にとって挑戦しがいいがあるなど。自分の力がどこまで通用するのか試してみたい気持ちもありました。

篠田：以前は中野区の病院で働いていましたが、「もっと専門的にリハビリに関わりたい」と考えていた時に、白金リハビリテーション病院が新規オープンし、その立ち上げメンバーを募集していることを知りました。そして「これはなかなか経験できないな」と思い、すぐに応募しました。

永野：新規の病院立ち上げて、確かに貴重な経験ですよね。

篠田：大変な事もありますが、自分たちで病

院の雰囲気づくりができてとても面白いです。

五百川：関西で地域包括から急性期・回復期、介護まで経験してきましたが、大学の実習で感じたリハビリの楽しさがずっと心に残っていて、回復期でやりたいと思うようになりました。東京に出ると決めたとき、「白金リハビリテーション病院は入るのが難しらしい」と聞いて(笑)。でも、それを聞いて逆に「よし、チャレンジしよう」と思えました。せっかく新しい環境に飛び込むなら挑戦したいなと。

永野：熊本の桜十字に新卒で入り、回復期や障害者病棟を5年間経験しました。東京に来る事情ができて、上司に相談したら「白金リハビリテーション病院で働いてみたら？」と言われました。今は人数の少ないSTチームで働いていますが、ひとり一人の役割が大きく、やりがいを感じています。

篠田：経歴は違いますが、みんな「挑戦」という共通点がありますね。

松島主任：本当に。環境を変えるのは勇気がいるんですが、それを越えて今ここにいるという感じです。

五百川：そうですね。せっかく来たからには、

自分にできることをしっかりやりたいです。

2. 病院の雰囲気や環境について

松島主任：以前勤めていた病院はメンバーが多かったのですが、ここは人数が少なく中途採用の方も多いため、フラットで誰にでも気軽に質問ができる環境があります。患者さまへの想いで意見がぶつかることもあります、遠慮なく話せるので働きやすいです。

武田：前職はメンバーが多くて、他職種との距離がありましたが、ここはPT・OT・STの垣根がなく、自然にコミュニケーションが取れています。また、看護部との連携もやすく病院全体で良い雰囲気があります。

永野：みんな自分をしっかり持っていて、お互いリスペクトしています。上下関係や職種に関係なく対等に話せて、主任にも相談しやすい環境です。

飯村主任：コミュニケーションが取りにくいと協力しづらくなるので、オープン当時から「ドライにならない環境づくり」を心掛けてきました。齋藤部長の「PT・OT・STの垣根を作らない」という方針もあり、チーム全体で共有しています。

松島主任: 誰にでも話しかけられる安心感には本当に大きいですね。

武田: 話しやすいからチームも強くなります。

3. やりがい、成長を感じる??

永野: 入職当時は解決の選択肢が限られていることが多く悩みを感じていたが、今は様々な可能性を考えられるようになりました。視野が広がった気がします。

篠田: 思ったことを自分の言葉で伝えられるようになり、周りの意見を取り入れて自分に活かせる力がつきました。対話力が育ってきたと思います。

武田: 頭で考えるのが苦手なタイプでしたが、今はまず自分で考える習慣がつきました。わからないことも整理してから相談しています。これは大きな成長です。

五百川: これまで患者さまに寄り添うことを重視してきましたが、最近は退院後の生活まで考えてリハビリを組み立てるようになりました。病院だけでなく、その先の生活も見据えることが自分の成長だと感じています。



飯村主任: スタッフが元気でなければ患者さまを元気にできません。だからまずスタッフの体調を大事にし、無理のないスケジュールで残業も調整しています。ひとり一人のワークライフバランスの実現に向けて、希望休に基づき、シフトを調整しています。

6. 患者さまとの関わりや工夫

永野: 月に一度、患者さまとレクリエーションを行っています。リハビリ以外の時間でも何か一緒にやりたい、喜ぶ姿を見たいというスタッフの声から自主的に始めました。患者さまも楽しみにしてくださっていて、体操やゲーム、釣り、歌、ボーリング大会など、全部スタッフがアイデアを出して準備した手作りのレクリエーションです。中にはダンスの動画を撮影・編集することもあり、結構本格的で(笑)。

武田: 患者さまからも「一人で部屋で過ごすよりみんなで過ごす楽しい」と聞いて、やってよかったと感じています。

五百川: こうした活動を通じて、患者さまひとり一人の性格や状況を観察しながら、それに合った関わり方を工夫しています。患者さまの性格も多様なので、関わり方もその方に合わせた柔軟な対応が求められますね。

7. リハビリ部としての取り組み

飯村主任: リハビリをする際にいつも意識して

永野: それぞれ違うけど、ちゃんと変化しているのを感じますよね。

篠田: 気づかないうちにできることが増えたり考え方が変わったりしています。

4. 相談できる上司や先輩はいますか

松島主任: 決断が苦手なので、よく主任同士で相談しています。みんな快く意見をくれて助かっています。

飯村主任: 困ったら主任同士で飲みに行くことで、自然と相談が解決につながっていますよね。

永野: 私は同期や年齢の近いスタッフと食事に行きます。そういう時間で気持ちが楽になることも多いなと感じます。

飯村主任: 最近もメンバーで蒙古タンメンに行きましたよね(笑)。あれ、美味しかった～!

齋藤部長: 自分で考え、働きやすい環境をつくるのが大事です。その際に頼れる仲間や上司がいるのは素晴らしいこと。この病院にはそういう雰囲気が根付いていると思います。もしかしたら院長がよくリハ室に来てくれ



いるのは、「この方は私の何倍も長い時間を生きてこられた」ということです。ほとんどの患者さまが望まずに入院されて、受け身の状況です。でも、だからこそ責任を持って関わることで、その時間を素敵なものにできると信じています。入院中が辛いだけの時間じゃなくて、人生の一部として過ごしていただきたい。その上で、退院後の目標も持ってもらえるよう、言葉づかいや態度にはすごく気をつけています。あとは、桜十字の理念をスタッフにずっと伝えてきたことも大きいと思います。方針の説明も、面談や1on1ミーティングでしっかり伝えてきたので、スタッフの考えがぶれることなく積み上がってきたのかなと思います。ここではみんなが患者さまと向き合って、時間いっぱい真剣にリハビリに取り組んでいます。

8. 応募検討の方へ!

篠田: 働きやすい上司や、声をかけやすい先輩がたくさんいるので何の心配もありません! 患者さまとの関わりで自分のコミュニケーション能力やリハビリ力、チーム力が試されます。ここはいい意味で「ちっちゃい分、ぎゅーっと詰まったリハビリ病院」です。

武田: 篠田さん、いい言葉ですね(笑)。普段あまり自分から意見を言うタイプではないのですが、白金リハビリテーション病院には意見を言いやすい雰囲気があるので、職種を超えて良い形で連携がとれています。また、

るからかもしれませんね(笑)。

飯村主任: ここは自己実現ができる場所で、やりたいことを実現できる環境があるから、いい雰囲気が生まれていると感じます。

5. 働き方、ワークライフバランス

永野: アクティブな仲間と「山に登ろう!」と話し、先日女子5人で富士山に登りました。途中で体調不良の子も出ましたが、全員で頂上まで行けました。冬はスノーボードにも行っています。コミュニケーションがとりやすいのは良いですね。

武田: 前の職場は残業が多かったのですが、今はほとんど定時で帰れています。とても嬉しい変化です。

松島主任: 休みとのバランスが取れた働き方ができています。また、出張で地方に行く機会もあり、講演があると現地に行かせてもらえます。あと、桜十字は産休・育休を積極的に推奨していて、取得しているスタッフもいます。育児中の男性も奥さんと協力してうまくやれているみたいだし、話しやすい雰囲気があるので、相談もしやすいかなと思います。



初めての事に前向きなところも良いですね。

松島主任: そうですね。新しいことにチャレンジできる職場で、AIなどのデジタルツールを活用した内容も提案しやすいと感じています。新しいことに挑戦したい方には、ぜひおすすめします。

永野: 地方から東京に来るのはハードルが高いと思いますが、みんな温かく迎えてくれます。提案にも耳を傾けてくれて、実現に向けてサポートしてくれる環境です。やる気のある方はぜひ、見学にきてください!

齋藤部長: 白金リハビリテーション病院のリハ部には対話を重ねながら築いてきたカルチャーがあります。主任たちも聞き役として現場の声を受け止め、一緒に作ってきました。病院としては3年目。これからさらに進化していきたいですね。新しい仲間が加わることで、新たな化学反応が生まれることを楽しみにしています。一番大切にしてほしいのは「患者さまとの時間」。その時間を大切に、一緒にリハ部を作っていきましょう。

白金リハビリテーション病院では、病院見学を受付中です! 笑顔あふれるチームが和やかな雰囲気の中でチャレンジを続けられる職場です。ひとり一人の声が届き、仲間とともに成長できる環境があります。ぜひ一度、私たちの職場の空気を感じにいらしてください。お待ちしております。

5. QUESTION & ANSWER

Q&A

Q. 研究や学会発表などがありますか？

A.

2024 年は合計で 6 件の学会発表に参加しました。
個人のキャリア支援のため、研究に関心の強いセラピストが自主的に取り組み、
周囲がそれをサポートする仕組みをとっています。



Q. 残業はどれくらいありますか？

A.

基本的に残業がないようにスケジュールを組むようにしています。
どうしても急な退院や間接業務が入ることがありますが、
ほとんどのスタッフが就業時間近くで帰れています。

TEAM SUPPORT

チームでサポート

「いきなり難しいことを任される…」なんてことはありません！
段階的なカリキュラムで、安心して着実に成長できる環境を用意！

新人教育に自信あり！あなたの成長を全力サポート！
主任レベルの先輩が教育担当！

経験豊富な指導者が、あなたの成長をマンツーマンでサポート！
業務の習熟度に応じた臨床経験が積める育成システム！

チームであなたを育てます！
先輩セラピストはもちろん、多職種との連携で「学びの幅」が広がる！

／ こんなあなたを求めています ／

- 患者さまの人生に寄り添うリハビリをしたい！
- しっかり学びながら成長したい！
- チーム医療の中で、セラピストとしての力を磨きたい！



採用に関するお問合せ

医療法人社団 峰至会
桜十字白金リハビリテーション病院 採用担当

TEL 03-6450-1281

メール jinji@sj-shirokane-reha.jp

住 所 〒108-0072 東京都港区白金1丁目 2-3

アクセス 東京メトロ南北線・都営三田線「白金高輪」駅 徒歩 3 分

／ 施設見学・ご応募 ／

／ ご質問はコチラ ／

採用
サイト



WELL-BEING FRONTIER

人生100年時代の生きるを満たす。



桜十字
Sakurajyuji Group